



2019年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2019年4月26日

上場会社名 フジ日本精糖株式会社
 コード番号 2114 URL <http://www.fnsugar.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 櫻田 誠司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部本部長 (氏名) 木船 亨 TEL 03-3667-7811

定時株主総会開催予定日 2019年6月18日 配当支払開始予定日 2019年6月4日

有価証券報告書提出予定日 2019年6月18日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	19,634	1.1	1,349	45.2	1,573	28.4	344	56.7
2018年3月期	19,846	2.6	929	49.8	1,225	43.1	793	11.2

(注) 包括利益 2019年3月期 288百万円 (%) 2018年3月期 1,146百万円 (51.8%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	12.81		2.1	6.9	6.9
2018年3月期	29.56		4.8	5.4	4.7

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 108百万円 2018年3月期 146百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	22,162	16,209	73.6	607.19
2018年3月期	23,290	16,857	72.6	629.34

(参考) 自己資本 2019年3月期 16,304百万円 2018年3月期 16,899百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	1,219	565	807	3,673
2018年3月期	1,676	728	393	2,643

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期		0.00		11.00	11.00	295	37.2	1.8
2019年3月期		0.00		11.00	11.00	295	85.9	1.8
2020年3月期(予想)		0.00		11.00	11.00		31.1	

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,500	4.5	700	10.2	750	20.0	500		18.62
通期	20,500	4.4	1,300	3.6	1,400	11.0	950	176.1	35.38

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期	29,748,200 株	2018年3月期	29,748,200 株
期末自己株式数	2019年3月期	2,895,956 株	2018年3月期	2,895,808 株
期中平均株式数	2019年3月期	26,852,323 株	2018年3月期	26,852,408 株

(参考)個別業績の概要

1. 2019年3月期の個別業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	12,883	5.2	1,289	33.3	1,519	24.6	460	
2018年3月期	13,596	0.7	967	18.4	1,220	16.4	624	8.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	17.16	
2018年3月期	23.26	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	18,680	14,942	80.0	556.46
2018年3月期	19,830	16,226	81.8	604.30

(参考) 自己資本 2019年3月期 14,942百万円 2018年3月期 16,226百万円

<個別業績の前期実績値との差異理由>

2018年10月19日付にて公表しました「特別損失(連結・個別)の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、連結子会社Fuji Nihon Thai Inulin Co., Ltd.及びDAY PLUS (THAILAND) Co., Ltd.の保有固定資産の減損損失計上に伴い、「金融商品会計に関する会計基準」に基づき、関係会社株式評価損を計上いたしました。また、両社に対する当社からの貸付金に対して貸倒引当金繰入額、当社が債務保証しております、両社の金融機関からの借入金に対する債務保証損失引当金繰入額を合計で1,933百万円計上しております。

2. 2020年3月期の個別業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	6,500	1.1	700	23.2	450		円 銭
通期	13,000	0.9	1,100	27.6	800		16.76
							29.79

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (4)今後の見通し」をご覧ください。

(日付の表示変更について)

「2019年3月期 第3四半期決算短信」より、日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境の改善が見られるなど、景気は総じて緩やかな回復基調で推移いたしました。しかし、通商問題の動向による中国をはじめとする世界経済に与える影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いております。

精糖業界においては、消費が減少傾向にあるなか、加糖調製品や異性化糖及び他の甘味料の浸食など厳しい販売状況が続いております。

この様な経済環境下、当社グループは、品質管理の徹底を図り、顧客満足度を高めるなか、砂糖は製品の安定供給に取り組み、機能性素材では高付加価値提案型の販売活動に取り組んでまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の当社グループの業績は、売上高19,634百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益1,349百万円（同45.2%増）、経常利益1,573百万円（同28.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は344百万円（同56.7%減）の減収減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①精糖

精糖事業につきましては、売上高11,171百万円（前年同期比6.4%減）、営業利益1,545百万円（同25.2%増）の増収増益となりました。

海外原糖市況は期初ニューヨーク先物市場12.33セント（1ポンド当たり）で始まりましたが、前年に続く世界砂糖需給の供給過剰により続落すると、9月にはおよそ10年ぶりとなる10セント割れを記録しました。その後、2019/2020クローンの世界需給が、再び供給不足に転じるとの観測から14セント台まで反発しましたが、原油価格の低迷や米中間の貿易紛争の影響などにより、再び下落に転じ、12.53セントにて期末を迎えました。

一方、国内製品市況は期初東京現物相場189～190円（日本経済新聞掲載）で始まり、海外原糖相場の下落により7月に製品出荷価格を2円引き下げ、187～188円で期末を迎えました。

製品の荷動きについては、ゴールデンウィークは天候に恵まれ、菓子関係は好調に推移したものの、夏場の酷暑の影響や冬場が暖冬傾向になったことから、飲料関係を中心に荷動きは低調に推移し、販売数量は前期を下回りました。

しかしながら、液糖生産の集約を図り、生産効率を高めたことなどにより、営業利益は増益となりました。

②機能性素材

機能性素材事業につきましては、売上高7,619百万円（前年同期比6.7%増）営業利益213百万円（同305.2%増）の増収増益となりました。

機能性食品素材「イヌリン」は、低糖質素材としての評価が定着してきたことに加え、整腸作用、血糖値の上昇抑制効果、血中脂質の低減効果に関する機能性表示申請が受理され、その効果が認められるなど認知度が向上して来た結果、大手ユーザー向けに新規採用され販売数量は増加いたしました。

海外においては、9月にインドネシアで開催された食品素材展示会「Fi-Asia2018」に出展し、タイ国および周辺国での販売に注力した結果、新規採用が増加し、販売数量を伸ばすことができました。

切花活力剤「キープフラワー」は、BS放送でのテレビCMやテレビ通販への参画など、新たなチャネルでの販売増にも力を入れましたが、切花消費の不振の影響により、減収減益となりました。

連結子会社ユニテックフーズ㈱におきましては、主力商品であるペクチン、ゼラチンの販売が回復したものの、販売競争の激化により増収減益となりました。

③不動産

不動産事業につきましては、売上高614百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益544百万円（同1.0%減）の増収減益となりました。

④その他食品

その他食品事業につきましては、タイでの食品関連事業が中心であります。業績は売上高228百万円（前年同期比43.8%増）、営業損失91百万円（前年同期 営業損失127百万円）の増収増益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4.8%減少し22,162百万円となりました。当連結会計年度における各財政状態の変動状況は、次のとおりであります。

①資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ11.6%増加し10,576百万円となりました。これは主として現金及び預金の増加等によるものであります。

また、固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ16.1%減少し11,585百万円となりました。これは主として機械装置及び運搬具及び投資有価証券の減少等によるものであります。

②負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ3.6%減少し4,267百万円となりました。これは主として短期借入金の減少等によるものであります。

また、固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ15.9%減少し1,685百万円となりました。これは主として繰延税金負債の減少等によるものであります。

③純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3.8%減少し16,209百万円となりました。これは主としてその他有価証券評価差額金の減少等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ1,030百万円増加し、3,673百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、1,219百万円（前年同期比27.3%減）となりました。これは主としてたな卸資産の増加額等によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果得られた資金は、565百万円（前年同期728百万円支出）となりました。これは主として投資有価証券の売却及び償還による収入等によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、807百万円（前年同期比105.1%増）となりました。これは主として長期借入金の返済による支出及び配当金の支払額等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
自己資本比率	68.5	69.7	72.2	72.6	73.6
時価ベースの自己資本比率	43.2	53.7	67.4	77.6	69.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	23.6	1.8	—	1.4	1.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ	3.3	44.1	—	55.2	46.7

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※1. 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は、期末株価終値×発行済株式数（自己株式控除後）により計算しております。

3. 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

4. 2017年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

次期の見通しとしましては、雇用・所得環境の改善傾向により更なる景気の伸長が期待される中、当社グループは、引き続き製品の安定供給及び品質管理を重要課題として取り組むとともに、タイ連結子会社を中心に海外事業の推進に注力してまいります。

精糖事業につきましては、引き続き営業体制の強化を図り、顧客重視と効率的な販売に努めてまいります。砂糖の消費減少傾向に歯止めが掛からない厳しい販売環境が続く中、ゴールデンウィークの大型連休やインバウンド需要などで、活発な荷動きが期待されることにより増収を見込んでおります。しかし、運送費の上昇等で販売費が増加することもあり、減益となる見込みであります。

機能性素材事業につきましては、イヌリンの国内販売では、現在の機能性表示をアピールするとともに、新しい機能表示食品の登録を目指し、幅広い分野への拡販を行ってまいります。また、海外販売では、更なる拡販を推進し、タイ国を中心としたアジア周辺国の販売増を図ることにより、増収を見込んでおります。さらに機能性素材各事業においても、コスト削減を図ることにより増益となる見込みであります。連結子会社ユニテックフーズ(株)は引き続き、主力天然素材のユーザー開拓と提案力強化を図ることにより、増収を見込んでおります。

不動産事業につきましては、自社所有賃貸物件の維持管理による安定収益の確保に努めますが、本社ビル賃貸に係る経費の増加により減収減益となる見込みであります。

以上の結果、2020年3月期の連結業績予想は、売上高20,500百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益1,300百万円（同3.6%減）、経常利益1,400百万円（同11.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益950百万円（同176.1%増）の増収増益を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループでは、連結財務諸表の期間比較及び企業間比較の可能性を勘案し、日本基準を適用して連結財務諸表を作成しております。なお、今後も日本基準の改定にも適宜対応しながら、国内外の情勢を見極め、状況の変化に適切に対応できるようIFRSの任意適用に関する検討は行ってまいります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,343,407	3,373,473
受取手形及び売掛金	2,806,196	2,702,826
有価証券	300,000	300,000
商品及び製品	2,055,612	2,118,084
仕掛品	131,970	139,172
原材料及び貯蔵品	700,988	909,946
その他	1,143,077	1,035,346
貸倒引当金	△4,708	△1,964
流動資産合計	9,476,545	10,576,885
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	809,036	466,637
機械装置及び運搬具（純額）	898,690	116,644
土地	2,527,435	2,527,435
建設仮勘定	90,750	-
その他（純額）	92,129	89,643
有形固定資産合計	4,418,042	3,200,360
無形固定資産		
のれん	253,842	145,853
その他	112,890	128,231
無形固定資産合計	366,732	274,084
投資その他の資産		
投資有価証券	7,000,310	6,163,389
長期貸付金	1,768	1,814
関係会社長期貸付金	1,773,240	1,689,800
その他	268,653	279,092
貸倒引当金	△15,278	△22,594
投資その他の資産合計	9,028,694	8,111,502
固定資産合計	13,813,469	11,585,948
資産合計	23,290,014	22,162,833

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,460,091	1,461,566
短期借入金	1,809,568	1,426,020
未払法人税等	195,792	500,264
未払消費税等	175,531	92,007
賞与引当金	118,123	114,408
その他	669,051	673,113
流動負債合計	4,428,159	4,267,380
固定負債		
長期借入金	548,097	466,082
繰延税金負債	839,487	626,590
退職給付に係る負債	18,251	22,670
資産除去債務	65,987	66,652
その他	532,475	503,778
固定負債合計	2,004,298	1,685,773
負債合計	6,432,458	5,953,153
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,049,343	2,049,343
利益剰余金	11,743,913	11,724,125
自己株式	△717,035	△717,126
株主資本合計	14,600,682	14,580,802
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,255,650	1,727,271
為替換算調整勘定	73,507	41,938
退職給付に係る調整累計額	△30,555	△45,575
その他の包括利益累計額合計	2,298,602	1,723,634
非支配株主持分	△41,727	△94,757
純資産合計	16,857,556	16,209,679
負債純資産合計	23,290,014	22,162,833

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	19,846,515	19,634,486
売上原価	15,390,097	14,549,306
売上総利益	4,456,417	5,085,179
販売費及び一般管理費	3,527,203	3,736,164
営業利益	929,214	1,349,015
営業外収益		
受取利息	30,376	27,303
受取配当金	76,504	76,005
為替差益	17,242	28,864
持分法による投資利益	146,745	108,917
その他	55,973	35,311
営業外収益合計	326,841	276,403
営業外費用		
支払利息	29,855	31,456
貸倒引当金繰入額	-	6,368
その他	556	13,702
営業外費用合計	30,411	51,527
経常利益	1,225,644	1,573,892
特別利益		
投資有価証券売却益	20,000	589,638
特別利益合計	20,000	589,638
特別損失		
固定資産除却損	3,854	1,937
固定資産売却損	317	-
減損損失	52,722	1,151,835
投資有価証券売却損	-	3,267
投資有価証券償還損	2,559	-
投資有価証券評価損	-	21,175
特別損失合計	59,453	1,178,216
税金等調整前当期純利益	1,186,190	985,314
法人税、住民税及び事業税	405,780	672,158
法人税等調整額	19,399	21,858
法人税等合計	425,180	694,017
当期純利益	761,010	291,297
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△32,852	△52,721
親会社株主に帰属する当期純利益	793,862	344,019

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	761,010	291,297
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	386,366	△528,378
為替換算調整勘定	△12,120	△35,943
退職給付に係る調整額	10,763	△15,020
その他の包括利益合計	385,009	△579,341
包括利益	1,146,019	△288,044
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,182,455	△233,208
非支配株主に係る包括利益	△36,436	△54,835

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,524,460	2,077,791	11,245,427	△717,003	14,130,675
当期変動額					
剰余金の配当			△295,376		△295,376
親会社株主に帰属する当期純利益			793,862		793,862
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△28,447			△28,447
連結範囲の変動					—
自己株式の取得				△31	△31
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△28,447	498,485	△31	470,006
当期末残高	1,524,460	2,049,343	11,743,913	△717,035	14,600,682

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,869,283	83,422	△41,319	1,911,387	△35,117	16,006,946
当期変動額						
剰余金の配当						△295,376
親会社株主に帰属する当期純利益						793,862
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						△28,447
連結範囲の変動						—
自己株式の取得						△31
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	386,366	△9,914	10,763	387,215	△6,610	380,604
当期変動額合計	386,366	△9,914	10,763	387,215	△6,610	850,610
当期末残高	2,255,650	73,507	△30,555	2,298,602	△41,727	16,857,556

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,524,460	2,049,343	11,743,913	△717,035	14,600,682
当期変動額					
剰余金の配当			△295,376		△295,376
親会社株主に帰属する当期純利益			344,019		344,019
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					—
連結範囲の変動			△68,431		△68,431
自己株式の取得				△90	△90
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△19,788	△90	△19,879
当期末残高	1,524,460	2,049,343	11,724,125	△717,126	14,580,802

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	2,255,650	73,507	△30,555	2,298,602	△41,727	16,857,556
当期変動額						
剰余金の配当						△295,376
親会社株主に帰属する当期純利益						344,019
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						—
連結範囲の変動						△68,431
自己株式の取得						△90
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△528,378	△31,569	△15,020	△574,967	△53,029	△627,997
当期変動額合計	△528,378	△31,569	△15,020	△574,967	△53,029	△647,876
当期末残高	1,727,271	41,938	△45,575	1,723,634	△94,757	16,209,679

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,186,190	985,314
減価償却費	268,198	205,123
のれん償却額	118,694	107,989
減損損失	52,722	1,151,835
賞与引当金の増減額(△は減少)	11,090	△3,714
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8,833	4,572
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△15,230	△17,205
受取利息及び受取配当金	△106,881	△103,309
支払利息	29,855	31,456
為替差損益(△は益)	△17,242	△28,864
持分法による投資損益(△は益)	△146,745	△108,917
投資有価証券売却損益(△は益)	△20,000	△586,371
投資有価証券償還損益(△は益)	2,559	-
投資有価証券評価損益(△は益)	-	21,175
固定資産除却損	3,854	1,937
固定資産売却損益(△は益)	317	-
売上債権の増減額(△は増加)	△247,873	141,543
たな卸資産の増減額(△は増加)	566,917	△272,753
未収入金の増減額(△は増加)	△8,639	34,189
その他の流動資産の増減額(△は増加)	154,501	5,408
仕入債務の増減額(△は減少)	△41,077	24,850
未払消費税等の増減額(△は減少)	175,461	△83,524
その他の流動負債の増減額(△は減少)	30,528	48,832
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△27,377	△28,258
その他	△25,779	△10,265
小計	1,935,210	1,521,042
利息及び配当金の受取額	137,930	122,610
利息の支払額	△30,388	△26,123
法人税等の支払額	△366,146	△398,453
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,676,606	1,219,075

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却及び償還による収入	65,299	737,173
投資有価証券の取得による支出	△1,355	△38,579
有形固定資産の取得による支出	△674,249	△148,769
有形固定資産の売却による収入	1,017	128
無形固定資産の取得による支出	△47,611	△42,931
長期貸付金の回収による収入	744,340	898,550
長期貸付けによる支出	△795,081	△840,000
子会社株式の取得による支出	△21,083	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△728,724	565,570
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△53,015	△18,937
長期借入れによる収入	151,005	210,000
長期借入金の返済による支出	△196,392	△703,164
自己株式の取得による支出	△31	△90
配当金の支払額	△295,376	△295,376
財務活動によるキャッシュ・フロー	△393,811	△807,569
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,704	3,371
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	559,774	980,447
現金及び現金同等物の期首残高	2,083,633	2,643,407
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	-	49,617
現金及び現金同等物の期末残高	2,643,407	3,673,473

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、各拠点に製品・サービス別の事業本部を置き、各事業本部は、取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業本部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「精糖」、「機能性素材」、「不動産」及び「その他食品」の4つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントを構成する主要製品及びサービスは以下のとおりであります。

報告セグメント	主要製品及びサービス
精糖	精製糖、液糖、砂糖関連製品等
機能性素材	食品添加物、切花活力剤、機能性食品素材、天然添加物素材等
不動産	不動産賃貸等
その他食品	製パン等

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注2)	連結 財務諸表 計上額 (注3)
	精糖	機能性 素材	不動産	その他 食品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,932,716	7,140,866	613,724	159,207	19,846,515	—	19,846,515
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,828	648	3,778	—	9,255	△9,255	—
計	11,937,544	7,141,514	617,502	159,207	19,855,770	△9,255	19,846,515
セグメント利益 又は損失(△)	1,235,163	52,742	549,958	△127,690	1,710,174	△780,959	929,214
セグメント資産	10,328,662	5,553,850	1,886,779	252,920	18,022,213	5,330,898	23,353,112
その他の項目							
減価償却費	50,668	188,369	13,048	16,112	268,198	—	268,198
減損損失	6,704	8,580	—	37,437	52,722	—	52,722
のれんの償却額	—	107,989	—	10,704	118,694	—	118,694
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	63,362	125,023	481,125	59,573	729,084	—	729,084

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△780,959千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。

なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額5,330,898千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主なものは、親会社での余資運用資金(現金及び預金、有価証券)、長期投資資金(投資有価証券)等であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注2)	連結 財務諸表 計上額 (注3)
	精糖	機能性 素材	不動産	その他 食品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,171,506	7,619,228	614,796	228,955	19,634,486	—	19,634,486
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,706	2,736	5,104	21,260	35,808	△35,808	—
計	11,178,212	7,621,964	619,901	250,216	19,670,294	△35,808	19,634,486
セグメント利益 又は損失(△)	1,545,876	213,698	544,509	△91,107	2,212,977	△863,961	1,349,015
セグメント資産	9,861,183	4,571,768	1,881,375	137,362	16,451,689	5,711,144	22,162,833
その他の項目							
減価償却費	51,894	130,327	12,799	10,101	205,123	—	205,123
減損損失	—	991,515	—	160,320	1,151,835	—	1,151,835
のれんの償却額	—	107,989	—	—	107,989	—	107,989
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	30,298	105,689	7,497	3,055	146,541	—	146,541

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△863,961千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。

なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額5,711,144千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主なものは、親会社での余資運用資金(現金及び預金、有価証券)、長期投資資金(投資有価証券)等であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

(単位:千円)

日本	タイ	合計
3,197,259	1,220,782	4,418,042

3 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
双日株式会社	9,147,794	精糖及び機能性素材

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	タイ	その他	合計
3,183,725	15,887	748	3,200,360

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
双日株式会社	8,681,781	精糖及び機能性素材

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					全社・消去	合計額
	精糖	機能性素材	不動産	その他食品	計		
当期末残高	—	253,842	—	—	253,842	—	253,842

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					全社・消去	合計額
	精糖	機能性素材	不動産	その他食品	計		
当期末残高	—	145,853	—	—	145,853	—	145,853

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	629.34円	607.19円
1株当たり当期純利益金額	29.56円	12.81円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
(算定上の基礎)		
純資産の部の合計額(千円)	16,857,556	16,209,679
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	△41,727	△94,757
(うち非支配株主持分(千円))	(△41,727)	(△94,757)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	16,899,284	16,304,437
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(千株)	26,852	26,852

項目	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	793,862	344,019
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	793,862	344,109
普通株式の期中平均株式数(千株)	26,852	26,852

(重要な後発事象)

該当事項はありません。